可児市議会だより第89号　令和５年(2023年)第２回定例会

議会のトビラ

バラ議会で4年ぶりの開会演奏会
図書館分館に関する補正予算に附帯決議

TOPICS

議会報告会

常任委員会報告

議員一般質問

表紙の写真・イラスト募集中!!（詳しくは13ページへ）

表紙写真「まぼろしの桔梗」（瀬田）
松波 浩徳さん（広眺ケ丘）の作品

「議員と語ろう」

～各常任委員会で議会報告会を開催～

建設市民委員会

教育福祉委員会

総務企画委員会

いずれの委員会も3～4グループに分かれて、 議会だよりを使って議会活動の報告をした後、各テーマについて活発な意見交換を行いました。

今回は対面形式のみで、市民の皆さんと直接お会いしての開催となりました。その様子をお伝えします。

可児市議会では、議会活動を広く知ってもらうとともに、市民の意見を議会運営の改善や、政策提言等に活かしていくため、議会報告会を開催しています。

今回は当日参加もでき、多くの市民の皆さんに直接お会いすることができました。

各常任委員会で設定した身近なテーマをもとに、それぞれの視点から貴重なご意見をたくさんいただきました。

5/14 考えよう！これからの地域防災

総務企画委員会では、自治連絡協議会の方を含めた17人と議員7人が参加しました。

この日は「考えよう！これからの地域防災」をテーマに、地域における防災の課題などについて話し合いました。

私はこう考えます
（いただいた意見の一部）

- 避難所や危険箇所を把握することが大切であるため、ハザードマップの活用を促進したい。
- 「住民がパッとみて」分かる防災情報を届けて欲しい。
- 防災無線の火災放送の復活を検討してほしい。
- 地域の特性を鑑み、避難所として集会場の利用についても考えたい。また企業とも連携して、消防団員不足の解消に協力して貰う手立てを考えなければと思う。
- 防災士の活動について再認識してみてはどうか。
- 自治会加入者と未加入者に対しての防災対策や行動・連絡等に課題がある。

5/14 どうなる？私の交通手段

建設市民委員会では、市民23人と議員9人が参加しました。

この日は「どうなる？私の交通手段」をテーマに、公共交通を実際に利用する中で感じる課題などについて話し合いました。

私はこう考えます（いただいた意見の一部）

・さつきバスは、行きの便があっても帰宅時にはなかったり、日曜日は運行がなく交通手段に困ることが多い。
・バスと電車の乗り継ぎが悪い。
・「電話で予約バス」は30分前に予約しなければならず、指定場所へ行くこと自体が難しい人もいる。
・電車、バスなどの公共交通ということだけではなく、交通手段全般で議論することが大切。
・これからの公共交通は、生活スタイルの変容、多様化に合わせて考えていく必要があるのではないか。
・利用者調査を行い、誰のための、何のための交通手段なのかを考え、運行の目的をしっかり把握したうえでダイヤを組んでほしい。

5/15 高齢者のあんき（安心）のために

教育福祉委員会では、民生委員・児童委員の方を含めた22人と議員8人が参加しました。

この日は「高齢者のあんき（安心）のために」をテーマに、高齢者が安心して生活するために必要なことなどについて話し合いました。

私はこう考えます（いただいた意見の一部）

・運転免許を返納した場合、日常生活に支障が生じないように、さつきバスの対策を考えてほしい。
・高齢の独居の方の異常を早期発見できるような、緊急通報システム以外のシステムづくりを検討して欲しい。
・自治会未加入の高齢者への対応が難しい。孤立しないようサロンもあるが、年数が経つとサロンに来られない人も出ている。
・地域でサポートしあう活動についてもっと周知してほしい。

参加してみてどうでしたか？

皆で可児市を良くするためにはどうすればいいかをポジティブに議論できたのがとてもよかった。

意見への回答があるとよい。

問題意識の共有ができた。

もう少し長く意見交換ができたらよかった。

それぞれの地域の現状を知ることができ、色々な立場の方の幅広い意見が聴けてよかった。

各種団体の方がメインで、意見が言いづらかったのが残念。

いただいた意見を今後につなげていけるよう、各委員会において調査研究を続けていきます。今後も市民の皆さんとお話できる多様な場を設けていきますので、ぜひ参加してください。

常任委員会 報告

～第2回定例会での議案審査の概要など各委員会の活動を紹介します～

予算決算委員会

令和5年度一般会計補正予算及び可児御嵩インターチェンジ工業団地開発事業特別会計補正予算について審査しました。

公民連携事業により商業施設内に図書館分館を新設

◆◆質問と回答◆◆

Q ㈱良品計画がヨシヅヤに新規出店する無印良品の店舗内に、市立図書館分館を新設するが、市民サービスの向上や費用対効果を今後どのように検証するか。

A 本に親しんでもらうことを第一に、貸出冊数に加え図書館エリアに入ってきた人数を把握できるようにしたい。

Q 公の施設として分館の位置づけを明確にするため、図書館設置条例に規定すべきではないか。

A 法制担当課との協議、他市の事例等も踏まえ検討していく。

Q 図書館エリアは㈱良品計画から転借する形だが、事故が発生した際の瑕疵担保責任などの整理はされているか。

A 一体的な整備のため取り扱いが微妙な部分も出てくることが想定されるが、これからの協議の中で取り決めをしていく。

Q 15年もの期間の債務負担行為を設定するが、相手方が早期撤退した場合などの取り扱いは。

A 転貸借契約の中で盛り込めるように今後協議していきたい。

◆◆討論の内容◆◆

反対 図書館建設計画がないことが問題であり、多額の費用をかけて設置する必要性を見いだせない。優先すべきは、今ある本館や分館、学校図書館の充実を行い、子ども達の読書活動を推進すべきであるため反対。

賛成 図書館本館は駐車場が狭い等の課題がある中で、新分館は市の全方位から来館が見込まれる場所に位置する点、民間のノウハウを活用できる点にも期待できるため賛成。

◆◆市への意見◆◆

▼早期撤退など相手方の都合により市側が不利益を被った場合の取り扱いや、防犯、事故発生時などの管理運営における責任の所在を明確にして本事業を行うこと　など。

総務企画委員会

条例の一部改正2件、その他2件について審査しました。

税条例の改正

地方税法の改正に伴い、森林環境税の追加等の改正を行うものです。

Q 森林環境税は県の清流の国ぎふ森林・環境税とは別に課税されるのか。また非課税となる基準は。

A 地方税とは別に、令和6年度から国税として一人年額千円が賦課徴収される。個人住民税の非課税基準と同様に前年の合計所得金額が38万円以下の場合などは非課税となる。

可児御嵩インターチェンジ工業団地内の字名等の変更

可児御嵩IC工業団地開発地内（柿田、渕之上、平貝戸の一部）の字区域を変更し、名称を「あけち」とするものです。

◆◆質問と回答◆◆

Q 「あけち」以外の案はあった

のか。平仮名表記とした理由は。

A 地元の意向を尊重し、他の意見もあったが、全体として親しみのある「あけち」とした。表記については庁内の委員会等で協議し、他市と混同しない平仮名がよいなどの意見が多数であったため。

建設市民委員会

今定例会では議案の審査はありませんでしたが、委員会所管事務についての質問事項や報告事項などについて協議しました。

Q 市まちづくり活動助成事業について、補助金等の交付は原則、事業完了後だが、前渡しを認める基準は。

A 規則に基づき判断しているが、具体的には前渡しを必要とする理由を記載した請求書を提出してもらい、先行費用が発生する場合など事業を実施する上で必要な理由かどうか判断する。

Q 部活動の地域移行にあたり、指導者確保が課題だが、どう見極め、確保していくのか。

A 技術面での指導に加え、教育的意義を重点に指導者講習会を引き続き行い、理解を深めた人材を確保していく。

教育福祉委員会

条例の一部改正4件について審査しました。

国民健康保険税条例と介護保険条例の改正

新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した場合等の国民健康保険税と介護保険料の減免について、令和5年4月1日以降に納期限が定められている令和4年度以前の年度分の保険税・料を減免対象に追加するものです。

Q それぞれの令和4年度の減免件数と金額は。

A 令和4年度の国民健康保険税の減免件数は3件で減免額は33万5200円である。介護保険料の減免実績はない。

次期委員会への主な引継事項

各常任委員会では、政策的課題について継続して所管事務調査が行われるように、次期委員会への引継事項を決定しています。その主な内容を紹介します。

▼予算決算委員会

・前年度決算審査時に行った提言について、新年度予算への反映状況を予算決算サイクルに沿って慎重に審査し、事業の実施状況等についても継続的に注視していくこと。

▼総務企画委員会

・今後の消防団組織のあり方や自治会未加入者への防災対策など地域防災に関わる事項について引き続き検討すること。

▼建設市民委員会

・図書館新分館について、その機能が十分に発揮されるような人員体制となっているか等、整備や運営が適切に行われるよう進捗の確認を丁寧に行うこと。

▼教育福祉委員会

・全ての子どもたちの学びの環境の確保や学びの質の向上が適切になされているかを注視し、実情の把握と改善に努めること。

第２回定例会 バラ議会

第２回定例会を、令和５年５月31日から６月22日までの会期で開催しました。可児市議会では、６月定例会を「バラ議会」と称し、バラのまち可児をPRしています。議場にたくさんのバラを飾り、開会日には４年ぶりに演奏会を行いました。

※詳細は１２ページの議会レポートへ！

可決 提出された議案と審議結果

第２回定例会に提出された議案は、承認４件、予算４件、条例６件、人事１件、契約１件、その他３件の合計19件で、すべて原案のとおり承認・可決されました。

【全会一致で承認、可決された議案】

番号		件名
承認	2	令和5年度一般会計補正予算（第1号）
	3	税条例の一部改正
	4	都市計画税条例の一部改正
	5	国民健康保険税条例の一部改正
議案	37	令和5年度一般会計補正予算（第2号）
	38	令和5年度一般会計補正予算（第3号）
	39	令和5年度可児御嵩インターチェンジ工業団地開発事業特別会計補正予算（第1号）
	40	税条例の一部改正
	41	都市計画税条例の一部改正
	42	国民健康保険税条例の一部改正

番号		件名
議案	43	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部改正
	44	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
	45	介護保険条例の一部改正
	46	農業委員会委員の任命
	47	請負契約の締結
	48	財産の取得
	49	字区域等の変更
	51	訴えの提起
発委	4	議案第50号　令和5年度一般会計補正予算（第4号）について　に対する附帯決議

【賛否が分かれた議案】

番号		件名	奥村 新五	松尾 和樹	中野 喜一	髙木 将延	大平 伸二	渡辺 仁美	伊藤 壽	勝野 正規	板津 博之	澤野 伸	山田 喜弘	川合 敏己	川上 文浩	天羽 良明	酒井 正司	野呂 和久	中村 悟	伊藤 健二	冨田 牧子	亀谷 光	林 則夫
議案	50	令和5年度一般会計補正予算（第4号）	○	○	●	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	-	○	●	●	○	○

※○は賛成　●は反対　　※議長（板津　博之）は採決に加わらない。　※野呂和久議員は体調不良により欠席。
※議案の詳しい内容については、議会ホームページまたは議会事務局窓口にてご覧いただけます。

令和５年度一般会計補正予算に対する附帯決議

市図書館分館をヨシヅヤ（下恵土）の無印良品店舗内に新設するための予算補正（2億8100万円）に関し、公民連携という新しい取り組みの中での事業となるため、次の事項について速やかに検討の上、実施することを附帯決議としました。

１．新しく図書館機能を有した公共施設が商業施設内に設置されることに伴い、公の施設としての図書館分館の位置づけを明確にするため、可児市立図書館設置条例の改正を行うこと

２．新しい図書館分館に係る経費を基金繰入金で賄っているが、新たな費用が経常的に発生することとなるため、図書館運営に係る経費については、今後安定的な財源確保を図り、他事業に影響を及ぼさないようにすること

ふるさと納税を更に充実させる為の施策は

澤野（さわの）　伸（しん）

Q **寄附金額が、2016年度に8千万円以上と急増したことについての要因は。**

A 寄附額に対する返礼割合を1割から3割に引上げたこと。返礼品の提供対象とする最低寄附金額を1万円に引下げたこと。ポータルサイトの利用を開始したことによる。その後、協力頂いている返礼品を扱う事業者数と返礼品数の増加や利用サイト数を増やし認知を高めたこと等により、2018年度には前年度の約5倍、4億円を超え、2021年度まで3億5千万円から4億円の規模を維持している。

ふるさと納税の公民連携は

Q **自治体間の競争が激しくなってきている。民間との連携による、ふるさと納税業務委託の検討はあるか。**

A 新たな返礼品募集や開発、プロモーション業務、マーケティング分析や戦略立案等、公共が直営でやるよりも、民間のノウハウを活用して実施した方が、効果が見込める分野も業務に含め、現在、民間委託する方向で公募選定を実施している。企画提案のプレゼンテーションを経て、7月の契約、8月からの委託業務開始に向けた準備を進めている。

可児市ふるさと応援寄附金
パンフレット表紙

会計年度任用職員の処遇改善を

冨田（とみだ）　牧子（まきこ）

Q **自治体で働く会計年度任用職員は、低賃金で不安定な働き方を余儀なくされている。女性の占める割合が高い職場であるため、男女賃金格差の是正、ジェンダー平等の観点からも処遇改善を。**

A 本市の会計年度任用職員の職種は一般事務職、保育士、キッズクラブ指導員、図書館員、児童発達支援員、地区センター事務員等、20以上に及びその多くを女性が担っている。加重平均による年収は225万3593円となっている。報酬については、県の最低賃金や周辺自治体の報酬額等を勘案して決定している。休暇制度も適時見直しをしている。今後も必要に応じて、処遇の見直しを行っていきたい。

エアコン購入・設置費用に対する助成は

Q **熱中症から身を守るためにエアコン設置が必要だが、エアコン購入費用に対する助成や高騰する電気料金への助成は。**

A 6月補正予算で、地方創生臨時交付金を活用し、物価高騰重点支援給付金として住民税非課税世帯等へ5万円の給付を行う。また県では省エネ家電（エアコンと冷蔵・冷凍庫）の購入支援が実施される。

ぎふ省エネ家電購入
応援キャンペーン(県HP)

YouTubeで一般質問の様子を配信しています。※一般質問の紙面は、質問議員が作成しています。

防災行政無線の有効活用を

天羽 良明（あもう よしあき）

Q **火災発生（緊急メール）に気づかず困っていると消防団関係者等の声がある。エリア別でサイレンを流せないか。**

A 技術的には地域を選択して放送できるが、火災発生の日時によっては、職員が火災発生情報を得てから登庁し、機器を操作するため、放送までに1時間以上かかる場合も想定される。また、火災の発生情報は避難情報とは異なり全市民に強制的に届けるべき情報ではないと考え、緊急メール等でお知らせしている。なお、これまで消防団や自治会などからは、火災放送の再開を要望する声は寄せられていない。

多世代が支え合う防災訓練を

Q **中学生の参加を募って防災訓練を開催することの意義と課題は。**

A 中学生の防災訓練への参加については、地域の一員として、地域の危険な場所を知ってもらうことや、近所の方と顔見知りになることなど、防災における地域コミュニティの観点から有効である。課題としては、防災に興味を持ってもらうための訓練メニューの提案等、家庭や自治会等が一体となって取り組む必要がある。

中学生も参加した防災訓練（下切）

マイナ保険証の導入で現場はどうなる

伊藤 健二（いとう けんじ）

Q **誤登録や人違いの紐づけが多数発生して、制度の信頼性が揺らいでおり、マイナ保険証をめぐる問題は見過ごせない。市民の命、健康を守る国保医療制度を壊さないために、市はどんな対策を行うのか。来年秋の制度開始に対する経過措置や、税額通知等の医療保険制度の「見える化」は。**

A 本市では令和6年8月交付の被保険者証の有効期間が令和7年7月末までで、それまでが経過措置期間となる。それ以降は、マイナ保険証か資格確認書により受診して頂くこととなる。また、保険税等の通知は従前通り毎年6月に行うとともに、窓口負担割合などの異動変更もその都度通知する。したがって、負担割合や保険税の異動内容は被保険者に届き、都度把握することができる。日常的には、国のマイナポータルで自身の保険証の情報等は確認できる。

国保保険証廃止への対応は

Q **短期被保険者証と資格証明書が廃止されると滞納者は無保険者になりかねないが、どう対策するのか。**

A 資格証明書に代わり、償還払いになることを事前に通知し、引き続き納付相談や納付指導を行っていく。

市の国保ハンドブック

性の多様性を認める社会の実現にむけて

野呂（のろ） 和久（かずひさ）

Q **関市は、市役所など27施設61カ所の多目的トイレに「みんなのトイレステッカー」を貼り、性的少数者も利用しやすい環境整備をしている。このことは、トイレステッカーを目にした人が性的少数者を意識し、考えてもらう啓発にも寄与している。多目的トイレに本市も独自の「トイレステッカー」を表示する考えはないか。**

A 多目的トイレの表示方法はＬＧＢＴＱの象徴であるレインボーカラーのシールを貼るなどの対応も考えられる。今後、男女共同参画プラン策定審議会委員の意見等もふまえ検討していきたい。

岐阜県のパートナーシップ制度導入の動向は

Q **令和2年12月に岐阜県はパートナーシップ制度の導入を検討すると発表した。その後の動向はどうか。**

A 令和５年４月に県と市町村の意見交換会が初めて開催された。制度の導入で提供できる市町村のサービスなどが話し合われた。県は制度の導入について前向きに検討していくとしているが、導入時期は未定としている。

関市役所内の多目的トイレ表示

子どもたちの体験の機会確保を

髙木（たかぎ） 将延（まさのぶ）

感染再拡大をどう伝えるか

Q **本市で再度コロナ感染が拡大した場合、その状況をどのように伝えるのか。**

A 国、県からの情報や要請に基づき、引き続き速やかに情報発信できるよう努めていく。感染動向の目安としては、県医師会が公開する岐阜県リアルタイム感染症サーベイランスシステムがある。

Q **物価高騰により習い事等の「体験」にかかる負担も大きくなっているが、支援策は。**

A 昨年は高校生までの子どもを養育する世帯へ３万５千円を支給するなど、様々な側面で子育て世代への経済的支援を行っている。

Q **地域部活動への移行で、体験格差は生じないか。**

A 平日の学校部活動の活動方針はそのまま継承され、活動内容が大きく変更することはないため、移行による体験格差はないと考える。今後、生徒数の減少によって活動が困難となる場合は、新たな活動の場の確保や共同実施の調整等、環境整備を進め、受け皿となる団体と連携を図りながら部活動が継続できるように支援していく。

和太鼓体験
（今渡地区センター）

投票支援カードの導入を

山田　喜弘（やまだ　よしひろ）

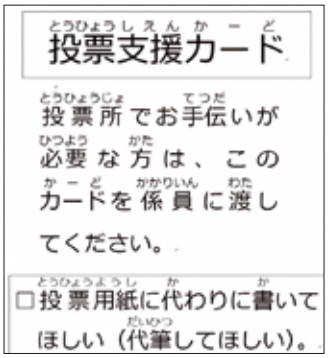
Q **投票所での代理投票や支援が必要な方に対し、投票支援カードやコミュニケーションボードを導入してはどうか。**

A 本市の投票所では、障がいのある方を含め、投票の際に支援が必要な方に対し投票事務従事者が状況に応じた、寄り添った支援を行っている。今後は、希望する支援内容を事前に確認して準備できるよう、投票支援カードを市ホームページからダウンロードできるようにするなど、支援が必要な方がより円滑に投票できるように取り組んでいく。

後付け運転支援装置の購入に補助を

Q **運転支援装置を自家用車に後付けする際に購入費を補助してはどうか。**

A 令和3年11月以降発売の国産新型車は衝突被害軽減装置が標準装備になっていることなどから、本市では後付けの運転支援装置購入補助金のニーズは高くないと推測している。高齢運転者の交通事故要因は様々であり、安全運転支援については、今後も可児警察署などと協力し、交通安全教育に重点を置いて取り組んでいく。そのため現時点で補助金の創設は考えていない。



市の投票支援カード（イメージ）

災害時の為にトイレトレーラーの導入を

奥村　新五（おくむら　しんご）

Q **自然災害が多発する近年、災害時におけるトイレ問題は大変重要である。「緊急防災・減災事業債」が利用でき公費負担の少ないトイレトレーラーの導入を検討してはどうか。プライバシーが保たれ、1500回分の汚物処理能力を有しており、導入自治体の市民の反応は大変好評である。**

A 南海トラフ地震時の避難者数を3324人と想定している。国基準の概ね20人に1基のトイレを目安とすると、167基必要だが、マンホール型トイレが37基、簡易トイレが523基あるため必要数を備蓄しており、トイレトレーラーの導入は考えていない。

導入に関し市民の意見聴取をすべきでは

Q **トイレトレーラーを実際に市民が目にすれば、ふるさと納税の活用など、費用面での協力を得られる事例だと思うが、市執行部の考えではなく、導入に関し市民の意見を聞くつもりはないか。**

A 保管車庫の整備や便槽の清掃などの維持管理費、トレーラーを牽引する免許の問題等も有り、今は購入の必要はないと判断している。この件に関し市民の意見を問うことは現時点では考えていない。

新潟県見附市のトイレトレーラー

議長交際費と政務活動費の公表

令和４年度 議長交際費

議長交際費とは、議長が議会を代表し対外的な活動をするために、予算の範囲内で支出する経費です。

なお、議長公務の内容は、議会ホームページやフェイスブック等でも公開しています。

区分	件数(件)	支出額(円)
慶祝	0	0
見舞	0	0
弔慰	3	15,000
会費	4	26,000
協賛・賛助	0	0
計	7	41,000

令和４年度 政務活動費

政務活動費とは、議員の調査研究に役立てるために必要な経費の一部として交付されるもので、本市議会議員には一人当たり年額24万円(月当たり2万円)が各会派または会派に属さない議員へ交付されます。各会派等は、毎年、収支報告書に領収書の原本を添付して議長に報告し、残額は市に返還しています。なお、領収書などは議会ホームページで公開しているほか、議会事務局で閲覧できます。

会派名等	人数(人)	交付額(円)	支出額合計(円)	残額(円)
会派きずな ※1	5	1,080,000	763,943	316,057
可児未来	3	720,000	652,270	67,730
自由民主クラブ	2	480,000	46,863	433,137
日本共産党可児市議団	2	480,000	183,621	296,379
可児市議会公明党	2	480,000	196,575	283,425
真政会	2	480,000	36,420	443,580
立憲民主党市民の声 ※2	2	480,000	423,504	56,496
保守の会	2	480,000	34,920	445,080
酒井正司(無会派)	1	240,000	78,858	161,142
松尾和樹(無会派)	1	240,000	107,667	132,333
計	22	5,160,000	2,524,641	2,635,359

※1　会派きずなは年度途中の人数変更に伴う交付額の変更あり。
※2　立憲民主党 市民の声の収支報告及び市まちづくり活動助成金の実績報告において二重計上された経費分は政務活動費の対象から除く。

会派名等	支出額合計(円)	支出内訳					
		研修費	広聴費	資料作成費	資料購入費	事務所費	要請・陳情活動費
会派きずな	763,943	314,540	0	132,810	59,455	210,942	46,196
可児未来	652,270	380,634	0	0	46,432	225,204	0
自由民主クラブ	46,863	36,630	0	993	4,800	4,440	0
日本共産党可児市議団	183,621	62,780	0	177	71,724	48,940	0
可児市議会公明党	196,575	36,800	0	12,041	110,070	37,664	0
真政会	36,420	36,420	0	0	0	0	0
立憲民主党市民の声	423,504	316,996	9,000	4,414	13,750	79,344	0
保守の会	34,920	34,920	0	0	0	0	0
酒井正司(無会派)	78,858	0	0	29,424	0	49,434	0
松尾和樹(無会派)	107,667	60,500	0	19,980	10,780	16,407	0
計	2,524,641	1,280,220	9,000	199,839	317,011	672,375	46,196

議会レポート

このコーナーでは、
議会が行っている活動などを紹介します。

▼子ども議会で議員体験 (5月9日)

帝京大学可児小学校の6年生のみなさんが、社会科の授業の一環で議場見学や、子ども議長・子ども議員となって模擬の本会議を体験しました。議員が議会の仕組みについてクイズを交えて説明した後、「どうして議員になろうと思ったの?」「外国籍の人が議場に来たときの対応は?」などたくさんの質問が飛び交いました。

議長が市長役、議員が執行部役となり、子ども議員からのするどい質問に答えました。

また、架空のK市の財政難を改善するため、「4つの事業のうち、どれをやめるか?」という議案について話し合い、採決するという体験をし、議会がどんなことをしているのかを知ってもらう良い機会となりました。

▼ 行政視察の受け入れ

他市町議会の行政視察を受け入れ、本市議会の若い世代との交流サイクルなど、議会改革の取り組みについて議員が説明しました。

また山城観光や工業団地開発、運動公園に関する取り組みなどについて、所管課職員が説明しました。

・石川県加賀市議会　(4月26日)
・長野県上田市議会　(5月 9日)
・奈良県田原本町議会　(5月10日)
・茨城県つくばみらい市議会　(5月16日)
・長野県千曲市議会　(5月18日)

▼ 永年勤続表彰 (6月22日)

全国市議会議長会および東海市議会議長会から、次の議員5人が在職15年の表彰を受けました。

酒井 正司 議員　　天羽 良明 議員
川上 文浩 議員　　川合 敏己 議員
澤野　伸 議員

▼ バラ議会で華麗な開会演奏会 (5月31日)

バラのまち可児をPRするため、6月定例会を「バラ議会」としています。開会日には、市内在住のバイオリン奏者の古井麻美子さんと、チェロ奏者の河井裕二さんを迎え、演奏会を開きました。

普段はあまり入ることのない議場で演奏を楽しんでもらい、議会を身近に感じてほしいという思いからの取組みです。

いつもとは少し違う雰囲気の中、シューベルトの「のばら」や「上を向いて歩こう」など、素敵な音色が議場に響き渡りました。

来場された多くの市民の方も、美しいバラに囲まれた開会演奏会に聴き入ってみえました。

委員会トピックス

常任委員会は、議会の会期以外にも所管する事業の調査研究のため、視察研修や意見聴取などを行っています。

▼建設市民委員会 バスに乗って課題を調査 (5月1日)

建設市民委員会では、公共交通の課題などを把握するため、さつきバスや名鉄広見線に乗り、ダイヤを確認したり利用者からその利用方法等について聴き取りを行ったりしました。

利用者からは、移動手段として助かっているとの声がある一方、便数が少なく、公共交通機関同士のアクセスがよくないなど様々な意見を聴くことができました。

▼総務企画委員会 燕市と見附市を行政視察 (5月11日、12日)

総務企画委員会では、新潟県燕市と見附市を行政視察しました。燕市では、「つばめ若者会議」について視察し、若い世代のまちづくりへの参画手法や活動について話を聴きました。

その特徴は、課題を押し付けるのではなく、若者が自主的に楽しみながら「まち」に関わることで、将来も自分のまちに関わり続けたいという思いを育てる内容でした。

見附市では住民主導型の防災訓練などについて話を聴きました。そこで驚いたのは、ほとんどの住民が自治会に加入していることや、約9割の中学生が市の防災訓練に参加しているなど、地域コミュニティの強さでした。

調査したことを今後の委員会活動に活かしていきます。

※詳細は議会ホームページにも掲載しています。

防災拠点としても活用される
「道の駅パティオにいがた」を現地視察

▼教育福祉委員会 民生委員・児童委員に関する勉強会 (5月11日)

教育福祉委員会では、民生委員・児童委員の活動状況などについて、高齢福祉課職員を講師に迎え、勉強会を実施しました。

民生委員・児童委員の方々が日々力を注いでおられる姿を伺い知ることができました。

表紙の写真、イラスト、絵画を大募集!

～あなたの作品で素敵な表紙に～

可児市議会では、議会だより「議会のトビラ」の表紙に掲載する「写真・イラスト・絵画」を募集しています。

皆さまの作品をお待ちしています!

※詳しくは議会ホームページをご覧ください。

第4回定例会のお知らせ

8月	
25日	開会日（議案説明）
25日、28日、29日	予算決算委員会

9月	
6日、7日	一般質問・議案質疑
11日、12日	予算決算委員会
13日	総務企画委員会
14日	建設市民委員会
15日	教育福祉委員会
21日	予算決算委員会
29日	閉会日（委員長報告・討論・採決）

※会議は午前9時から開会します。
※日程は、都合により変更する場合があります。

発行■可児市議会 〒509-0292 岐阜県可児市広見一丁目1番地 ☎0574-62-1111 FAX0574-63-3972 E-mail■gikai-dayori@city.kani.lg.jp HPアドレス■https://gikai-kani.lg.jp/

チョット おじゃまします

今回は、議会広報部会員の山田議員と中野議員が県立可児高等学校におじゃまして、探究活動「エンリッチ」のコアメンバーとして活動している和田海愛（みあ）さんと丹治（たんじ）ベアトリスさん、二村文敏教頭先生に探究活動についてお話を伺いました。

※文中で広報委員は（広）、和田さんは（和）、丹治さんは（丹）、二村先生は（二）としています。

広：時間割の中に設定されている『総合的な探究の時間』とはどのようなものですか。

二：変化の激しい社会に対応できる力を養うため、特定の教科の枠にとらわれず、生徒たち自身が主体的に課題を設定し、成果や研究結果を発表することを狙いとしています。

広：これまでの地域課題解決型総合学習として実施してきた「エンリッチプログラム」の活動で印象的な活動や今後やってみたいことがあれば教えてください。

和：“子ども食堂”の現場を訪問した時に「参加する事に引け目を感じなくていいように、みんなが助け合って運営しているお互い様の精神」を現場で体験できた事がとても印象的でした。

丹：私は夏休みに不登校生徒の居場所づくりができないかと考えています。外国籍の子どもたちの日常生活の困り事に言語面からサポートできたらとも考えています。私自身、英語スピーチコンテストに参加し、語学力向上にも挑戦しています。

丹治さん（左）と和田さん（右）　校訓の前で

広：ベトナム・オンライン研修についても聞かせてください。

二：昨年度は16名の生徒がZoomでの研修に参加しました。5日間現地の大学生と英語のみでコミュニケーションし、LINEグループ上で各自の趣味や日々の生活で感じたこと等を話すなど、楽しく充実した英語体験をする事ができました。

【取材を終えて】

学年全体では興味関心のある事を深く探究し、エンリッチコアメンバーによる有志活動では課題をより深く高度に探究していました。その姿は、議員としても見習うべき点が多々ありました。

表紙の目

今回の表紙は桔梗坂の桔梗です。通常桔梗の花びらは5枚ですが、10枚もある珍しい桔梗の写真を応募していただきました。

松波さんのコメント

「“麒麟がくる”以来、明智城址の桔梗坂に植えた桔梗です。昨年の写真ですが今年も見頃となっています。皆さんぜひ見に来て下さい。」

表紙の写真やイラストを募集中！
詳しくは
可児市議会のホームページへ。

議員の政治倫理の徹底を進めます

これまで可児市議会は、他市に先駆け政務活動費の支出に関し、すべての領収書を添付・公表するなど厳格な基準を設け行ってきました。

しかしながら、令和5年4月当時、会派「立憲民主党市民の声」の経理責任者であった山根一男氏が、政務活動費と市のまちづくり活動助成金において一部の経費を意図的に重複して請求していることが明らかとなりました。

まちづくり活動助成金においては領収書を改ざんして提出するなど極めて悪質であり、市民の議会に対する信頼を大きく損ねる許しがたい行為と考えます。

今後は、再発防止に努めるとともに、市民の負託を受けた議員としての責任を十分自覚し、このようなことが二度と起こらないよう、可児市議会基本条例及び可児市議会議員政治倫理規程の遵守を今一度肝に銘じ、市民の信頼回復及び市民福祉向上に議会一丸となって努めてまいります。

令和5年7月　可児市議会議長　板津　博之

Facebook　Instagram

VEGETABLE OIL INK
「可児市議会だより」は再生紙と環境に優しい植物油インキを使用しています。